



1学期 ラストスパート!



興除中学校区
あいさつの日
7月12日

観測史上最速で「梅雨明け」・・・そして、連日の酷暑。新型コロナウイルスの新規感染者数は減少しているとはいえ、その対策はまだまだ必要ですが、この学校だより第3号でもお伝えしたように、マスク着用については、児童の活動内容・場所に合わせて適切に使用させる、「暑さ指数」を適宜測定して活動をコントロールするなど、“熱中症”対策にも十分に配慮・留意をしながら進めていく必要があります。

新型コロナウイルス感染症予防のための岡山市立学校の対応も、6月29日時点で「レベル1相当」とされました。これまで制限していた活動においても、感染症対策を講じた上で、可能な限り再開をし、子どもたちの健やかな学びを保障していくようになりますが、例年のない暑さに対する対応も踏まえ、その行事・活動の準備段階から考慮して徐々に学校教育活動の再開を図っていきたいと考えています。保護者並びに地域の皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

「あつまれ! あいさつの学校」

運営委員会を中心に各委員会の委員長が話し合い、「笑顔かがやく曾根小学校」を目標に、その第1弾として『あつまれ! あいさつの学校』という企画が立てられました。

今年度は、たくさん的人数で、どの学年も楽しくあいさつを盛り上げていきたいという意見から、毎月第2週の「興除中学校区あいさつ週間」に合わせ、各委員会と各学年(+ボランティア)が順に「あいさつ運動」を担当していきます。6/13(月)からの1週間は、運営委員会と5年生が担当でした。ボランティアもたくさん加わって、曾根小学校の朝の校庭に、元気でさわやかなあいさつの声がこだましていました。

校内では、「おはようございます」「さようなら」だけでなく、昼間に会えると「こんにちは」も言える子どもが増えてきています。徐々に気持ちのよいあいさつができつつあるなと感じています。

しかし、ずっと続いているマスク生活のせいか、声が小さかったり、うつむいてあいさつをしたりするために、あいさつをしたつもりでも伝わっていないことが少なくないなとも感じています。相手に伝わるあいさつをする、「目と目を合わせて、あいさつのキャッチボールをする」ことが大切だということも、折に触れて指導していきたいと思っています。地域、ご家庭でも、ご指導よろしくお願いいたします。



2年生「野菜先生」来校

5月の連休明けから、2年生の子どもたちが生活科の学習で育てている野菜(トウモロコシ)が、子どもたちの背丈以上に大きく育ってきています。

そこで、6/17(金) 地域の「野菜先生」が再び野菜作りの指導に来てくださいました。2回目となる今回は、大きくなっ

た野菜の成長を確かめ、倒れないように上部を支柱に紐で結束するという作業を指導してくださいました。実は、「野菜先生」方は毎日のように植えた野菜の育ち具合を確かめに来てくださっていて、本当に感謝しております。子どもたちも、収穫できる日をととても楽しみにしています。



興除中学校区げんきアップ週間

6月21日(火)～28日(火)は、「興除中学校区げんきアップ週間」でした。興除中学校区の8校園(興除中学校、東疇小学校、興除小学校、曾根小学校、興除認定こども園、東畦保育園、興除東保育園、曾根保育園)で時期を揃え、これまで以上によりよい生活習慣を身に付け、自分で進んで学習することができるようにするために、生活習慣全般に関するチャレンジをする取組です。

望ましい生活習慣の確立は、よりよい成長の根幹であり、学習意欲や気力の充実、体力の向上にもつながります。4月下旬に保護者の皆様にご協力をいただき、子どもたちが1年間の



の目標とする1日の生活予定表をつくって、ご家庭に掲示をしていただいていると思います。その目標を実践していくことができるように、学期に1度、がんばって取り組む週間を設けています。1学期と2学期は「興除中学校区げんきアップ週間」とし、3学期は「がんばれソーネ週間」として、生活習慣・学習習慣のさらなる定着を目指していきます。

学校では、各学年で保健指導を行い、子どもたちは「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さについて学習しました。学んだことを日常生活で実践していくことができる力、また、「〇〇週間」ではない時でも、自分で考え進んでよりよい生活を送ることができる自律する力も身に付けてほしいと思っています。ご家庭でも、身に付くまで粘り強く関わってくださいますよう、ご指導ご協力をよろしくお願いいたします。



水泳学習もスタート

6/20(月)の週から各学年で「プール開き」をし、水遊び・水泳の学習が始まりました。

子どもたちの多くは、待ちに待ったプールでの学習を楽しみに、とても意欲的に学習しています。

お伝えしているように、プールではマスクを着用せずに学習をしますが、その他の感染対策を講じた上で、水の安全はもちろん、適宜水分補給をさせるなどの熱中症対策にも留意して指導をしています。



教職員は毎年、水泳指導に先立ち、「救急法」の実技研修を全員で行っています。緊急時の連携確認や、胸部圧迫・AEDの使用方法などの再確認をしました。無論、応急処置対応を行う必要がないように授業を進めていくことが大前提ですが、万が一の事態に備えた対応訓練も必須だからです。

ここ数年は、コロナ禍の影響で中止もしくは制限を受けつつの水泳授業でしたが、泳力・体力を高めるだけでなく、命を守る授業でもありますから、子どもたちにとってよりよい水遊び・水泳学習の場となるよう授業を進めていきます。これまでと同様に、ご家庭での健康観察がより大切になってきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

きらりん☆読み聞かせ

今年度も、読み聞かせボランティア「きらりん☆」による朝の読み聞かせが始まりました。コロナ禍の影響で、一昨年度から活動を休止していましたが、昨年度よりTV放送による読み聞かせが始まり、6月も同様にTV放送で行われました。すでに知っているお話であっても、読み聞かせとなると、子どもたちの目は輝きます。見方・感じ方がまた違ってくるのでしょうか。すべては「子どもたちのために・・・」。ボランティアの皆様、本当にありがとうございます。

